

2005年 5月 109号

特定非営利活動(NPO)法人 太陽と緑の会

もくじ

表紙の絵 名田和外/巻頭コラム
杉浦 良/罹災後の再建に向けて
ご支援下さった方々へのお礼、協
力者名簿/メンバースタッフから
の声/お知らせと出来事/編集後記

かわら版

巻頭コラム 杉浦 良

太陽と緑の会 国府作業所



しばらく機関誌を発行することが出来なかつたことを、まずはお詫び申し上げます。この2月27日午前5時前、徳島市国府町南岩延にある、太陽と緑の会店舗兼作業所兼事務所の一階入口付近より出火し、約40分後に全焼いたしました。手早い消火活動のお陰もあって他への延焼もなく、またけが人も無かったことが、不幸中の幸と考えております。すぐに警察の現場検証が始まり、この4月1日に現場保存も解除され、立ち入りが可能となりました。現在具体的な片付け作業に入り、再建に向けて、様々な

方々の支援を頂きながら、頑張っています。4月16日、17日には県内の障害者地域共同作業所や小規模授産施設の方々合わせて50名ものサポートを受け、真っ黒に焼けた店鋪兼作業所から、ねじ曲がったスチールラックや溶けた電化製品、すすけた10万冊にも及ぶ本などを運び出しました。ヘルメットに防塵マスク、首にはタオル、足には長靴という出立ちで、予定より随分早い片付けができました。次の日の日常業務に差し障りの出るほどのハードな作業を、嫌な顔ひとつせずに取り組んでくださっ

たことに頭が下がります。こちらのメンバーやスタッフそしてボランティアの方々、それと県内の作業所を支える方々がワイワイ言いながら、真っ黒になって作業に取り組む姿は、感動的です。

今は亡き、太陽と緑の会創立者の近藤文雄がこの光景を見たら、多分、今は亡き、映画監督柳澤寿男氏にカメラを廻して欲しいと懇願したでしょう。整形外科医であった近藤文雄が、郷里の徳島で太陽と緑の会をつくるきっかけを作った仙台の国立西多賀病院。そこに集まった筋ジストロフィーの患者さんたちにカメラを向けることになった柳澤寿男監督。記録映画『ぼくの中の夜と朝』（1970年）の取り持つ縁が、いつしかめぐり巡って、今の特定非営利活動法人「太陽と緑の会」に繋がっていくというダイナミズム。その拠点が、20年の様々な方々の気の遠くなるような積み重ねが、一瞬のうちに灰になってしまうというパラドクス。その焼け跡を、もう一度気の遠くなるような道のりを辿ろうとして、黙々と片付ける人々。

残念ながら、その近藤文雄も柳澤寿男氏も、今はこの世にいません。これからの再建への長い道のりを、様々な方々の支えを頂きながら、辿っていくプロセス。それを世間に見ていただきながら、あの世からは近藤文雄と柳澤寿男氏に見ていただきながら、もう一度、何を大切にしていかなければならないかを、確認していきたいものです。

追伸：3台のパソコンがバックアップデータごと焼失しました。皆様へいろいろご迷惑をおかけすることになると思います。この機

関誌を今まで印刷していた印刷機も焼失しました。不備な点をご指摘いただき、復旧できるものから一つずつですが、復旧していきたいと思います。宜しくお願い申し上げます。

ボランティア募集

現在、太陽と緑の会では復興に向けボランティアさんを募集しています。時間は空いた時間でいつでも構いませんが、出来たら長期に渡って活動できる方が望ましいです。作業内容は別館倉庫及び外回りの整理から始まり、不用品の回収活動、持ち込み対応、商品仕分け、売り場のレイアウト作り、接客、可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみの仕分け、積み込み、搬入などと手伝って頂きたいことはたくさんあります。空いている時間がもしありましたら、なにとぞご協力、よろしくお願いいたします。

太陽と緑の会 リサイクル作業所

Tel 088-642-1054

ボランティア受入担当 桑内、木村迄

月の宮作業所から

2月の火災で、メンバー・スタッフ全員落胆していましたが、皆様の力強いご支援のおかげで、何とか活動を再開することが出来ました。誠に有難うございました。

今、月の宮作業所では、メンバー・スタッフに加え、ボランティアの協力も頂いて、作業に励んでいます。暖かい春を迎えた畑や、菌床では、野菜たちがすくすくと成長しております。皆様の食卓に並ぶ事も間近だと思えます。ご期待下さい。

文 福家

罹災後の再建に向けてご支援下さった方々

§ 2005 年 2 月 27 日～2005 年 4 月 16 日 §

お見舞いに来て下さった方々

山下様、村田様、横田様、島様、木内様、吉富様、柏原様、松村様、谷口様、木村様、井川様、森本様、吉田様、小倉様、大和様、近藤様、流様、田所様、小林様、田村様、いのちのさと様、新平和製紙(有)様、うめっこ作業所様、佐々木様、徳島市市民生活課様、身体障害者小規模作業所徳島連絡協議会様、徳島県手をつなぐ育成会、徳島新聞有志一同様、服部様、林様、小林様、徳島県ボランティア協議会様、徳島県身体障害者連合会様、市川様、太田様、大谷様、米澤様、徳島市福祉課様、日本たばこ産業(株)徳島支店、西条様、野口様、徳島ペプシコーラ販売(株)様、近藤様、谷口様、笠井様、山下様、横田様、山崎様、玉置様、美馬様、蔵本様、内原様、(株)モウブ様、藤田様、原様、荒川様、柴田様、足田様、河野様、平田様、友竹様、通所授産施設 ひまわり園様、小倉様、矢野様、精神障害者援護施設ウィスパー様、浜様、三原様、篠原様、徳島県環境企画課様、河野様、高島様、土井様、(有)エコ企画様、小口様、佐藤様、大草様、西尾様、大亀様、藤原様、近藤様、板東様、島様、山岡様、四宮様、樋口様、宮崎様、服部様、新開様、細川様、福永様、板東様、田所様、徳島県社会福祉協議会様、小林様、杉本様、大和様、東崎様、井内様

見舞い品を下された方々

流工業所様、青木様、木村様、フレンズ作業所様、野口様、ハートランドあっぱる様、ほっとハウス様、藤田様、国府給食様、松村様、小林様、近藤様、大坪様、サニーサイドジャズオーケストラ様、太田様、近藤様、カメラガール 三橋様、近藤様、田所様、小林様、鳴門市身体障害者連合会様、藤田様、井内様、三原様、松本様、大和様、北野様、近藤様、南本様、スーパー大島様、吉野川育成園、NPO事業成果発表会優勝賞・特別賞受賞団体様、JCIテレワーカーズネットワーク様、田中様、リボン様、小林様、足立様、小林様、青山様、加藤様、ほっとハウス様

見舞金を下された方々

笠井様、徳島共生塾一步会(新開善二様)、近藤健二、加栄子様、木内様、匿名様、新平和製紙(有)様、いのちのさと(石川様)、社会保険労務士(林様、米沢様)、松村様、流工業所様、藤田様、ほのぼの屋ねっこ会様、社会福祉法人徳島県手をつなぐ育成会(山口様)、身体障害者小規模作業所徳島県連絡協議会様、徳島県身体障害者連合会 会長 原様、特定非営利法人徳島県ボランティア協議会様、徳島新聞有志様、野口様、近藤様、ほっとハウス様、日本たばこ産業(株)徳島支店様、服部宏昭様、徳島県青年海外協力協会様、うめっこ作業所様、青木様、おおぎ学園様、徳島市手をつなぐ親の会(福永様)、河野様、足田様、柴田様、村上産業(有)様、原様、(株)モウブ様、蔵本様、モヨ・チルドレンセンター様、特定非営利法人徳島県ボランティア協議会(理事長 近藤様)、谷口様、財団法人徳島市身体障害者連合会 あゆみ園作業所(園長 島谷様)、徳島県 県民環境部 環境局 環境企画課 有志一同様、平田様、天理教教会 入田町 西田様、清田様、友竹様、太田様、大坪様、徳島市手をつなぐ育成会 通所授産施設 ひまわり園様、小倉様、三原様、精神障害者援護施設ウィスパー様、矢野様、浜様、夢工房様、土井様、篠原様、ワタベサイクル(渡部様)、吉野川みんなの会 有志一同様、(有)エコ企画様、高島様、まちコンメンバー深見様(小林様預かり)、佐藤様、水谷様、高橋様、重複聴覚障害者 地域共同作業所 やまもも様、泉様、森様、大草様、西尾様、香川様、岡田様、大亀様、宮崎様、森本様、十まん作業所様、北野様、吉野川育成園様、社会福祉法人 育成会 なごみ様、徳島 NPO 一同様、藤原様、瀧倉様、リボン様、細川様、国府養護学校PTA様、徳島県社会福祉協議会様、徳島県社会福祉協議会職員一同様、匿名様、市川様、大熊様、三好商事様、北野様、国府養護学校教職員一同様、国府養護学校同窓会様、森井様、柴野様、両角様、津田様、中原様、山城グループホーム一同様、

秋本様、西崎様、塚谷様、林 紀恵他一同様、青木様、市民活力開発センター様、青木様、七條様、尾崎様、池田様、高島様、加藤様、コープ自然派徳島様、田中様、まちかどコンサート主催募金箱様、まちかどコンサート主催者様、足立様、堤様、宮田様、医療法人松岡会 山幸メディカルー同様、吉川様、匿名様、マルワ環境株式会社 代表取締役丸山様、キカワ鋼業株式会社様、大塚様、乾様、白石様、九龍様、匿名様、井形様、逢坂様、喜多様、藤川様、日本精神保健福祉士協会徳島県支部様、堤こころ様、おおぎ学園 原様、匿名様、山寄様、桑原様、岸上様、障害者地域共同作業所 ほっとハウス様、松本様、脇田様

下記の団体の皆様より文具券を寄贈して頂きました。

NPO法人共生塾一歩会、NPO法人シニアパワー・ネットワークとくしま、NPO法人阿波グローバルネット、ヒップファミリークラブ徳島

徳島県障害者地域共同作業所連絡協議会主催

「がんばろう、リサイクル がんばろう 作業所」にお振込み頂いた方

藤塚様、三條様、蔭山様、橋本様、浅野様、白石様、フレンズ作業所様、鈴江様、鳴門市社会福祉協議会内 鳴門市手をつなぐ育成会様、阿部様、久米川様、徳島大学工学部建設工学科 山中様、棚橋様、藤田一彦 千秋 拓也 凌様、徳島県障害福祉課様、亀島様、松前様、長楽様、休日レスパイト 長楽様、齋藤様、大西様、笠井様、吉田自動車様、元永様、丈六団地あすなろ会 矢野様、あわっこ作業所様、笠井様、社団法人 日本青年奉仕協会様、徳島県立あさひ学園 保護者会様、あわっこ作業所 ハートとくしま 岸様、十枝様、まゆやま学苑様、小山様、木戸様、木村様、特定非営利活動法人 ふれあい藤の花 渡辺様、小野寺様、きのこハウス様、横田様、ひだまり作業所様、南様、中野様、加戸様、上山様、特定非営利活動法人 あるでないで徳島様、樋口様、丹様、匿名様、日和佐保健所内 海部地区家族会様、うみがめ作業所様、阿宮洋子 和代様、武田様、湊川様、芝原様、たんぼぼ作業所 玉置様、福田様、たんぼぼ作業所様、喜田様、勝浦社会福祉協議会 サルビア作業所様、木村様、宮内クリニック 大野様、平岡様、徳島県立ひのみね養護学校様、池様、杉本様、まゆやま学苑様、吉田様、山下様、シーズ 保護者会様、後藤様、徳島県労働者福祉協議会 連合徳島様、徳島県労働者福祉協議会様、徳島県労働者福祉協議会 友の会ひまわり様、精神保健ハートせんば作業所様、木内様、花園荘 林様、夏風様、山崎様、佐々木富士子 精神保健ボランティアグループ連絡協議会様、正木様、日和佐保健所様、江川様、市村様、わかめ家族会様、野口様、松原法律事務所 徳島当事者ボランティアホップス様、久住様、橋本様、玉置様、若竹通勤寮様、小規模作業所 どんどこどん様、有賀様、第2つくしの里様、三浦様、長生堂製薬株式会社 播磨様、久住様、久住様、ミント作業所 松田様、阿南養護学校 ひわさ分校PTA様、西條内科 西條様、小原様、第2あおば学園 家族会一同様、内田様、ヴィヴァーチェ野菊 保護者会様、近藤様、地域生活支援センターことじ 職員有志様、西村様、武田様、吉田様、行成様、昼間様、ダンススタジオひまわり「ひのみね関本敦子ダンススタジオのみなさん有志」様、浜田様、高橋様、井内様、井村様、井村様、濱口様、竹内様、三木様、丸田様、磯谷様、たんぼぼ作業所様、すだち作業所様、小川様、知的障害者更生施設シーズ様、小笠原様、いたの共同作業所 あせび様、あすなろ作業所様、ひかりの会 山本様、城西病院 職員一同様、大倉様、藍里病院 田島、谷、5病棟スタッフ有志、喜枝、元木、鴻野、伊勢、伊月、尾崎様、鬼原様、生越様、岩佐様、矢野様、神山町社会福祉協議会様、松尾様、すみれ 藍住作業所 高田様、西林紀雄 歌奈美様、すみれ藍住作業所 岸上、石本、山田様、下村様、小松島療育センター 職員一同様、藍里病院 久保様、きょうされん 理事会様、富永様、樋端様、筑摩工芸研究所様、森川様、野いちごの場所 野村様、西條様、嘉数様、村木様、上板あおば宛 徳島県心身障害者福祉会様、小規模通所作業所ひだまり 保護者会一同様、川人様、吉村様、宮路様、豊能障害者労働センター様、障害者地域共同作業所スマイル 原、吉田様、サポートぴあ様、小松様、大下様、河村様、西山様、箸蔵山荘 親睦会様、友愛の灯協会様、横山

エスティ工務店様、吉本様、芥川様、窪川様、佐藤様、金岡様、西岡様、内藤様、宇山様、羽ノ浦町社会福祉協議会様、永口様、鎌田様、幸田様

罹災後、当会の活動に協力して頂いた方々

§ 2005 年 3 月 20 日～2005 年 4 月 20 日 § (紙面の都合上、敬称は省略させていただきます)

不用品を持ち込んで下さった方々

○徳島市○山下、平尾、江戸、山口、岸、吉川、川田、橋本、安芸、井上、北川、中村、都、河村、久次米、大村、福田、西田、三原、伯木、宮田、松村、庄野、阿部、武井、坂田、富村、糸林、藤原、木藤、宇野、伊沢、小池、藤川、谷口、杉井、鈴木、森山、杉本、藤本、竹内、赤沢、三嶋、葉久、榎本、増本、富塚、小笠原、明野、西野、佐藤、佐木山、照本、津川、吉田、中川、渡辺、木元、佐々木、木下、坂東、笠谷、竹内、蔵本、新居、福永、大和、大槻、川口、小南、児玉、池田、宮野、佐野、赤松、コープ自然派徳島、田中、久米、安岡、加藤、美馬、杜、一宮、篠黒、滝本、片山、森本、堤、林、黒嶋、縄田、合田、東條、高木、山西、佐賀、吉田、聖ヴェルナデット保育園、原田、野ノ瀬、米沢、滝山、梅津、浜田、中村、漆原、山岡、両角、柳澤、木村、山川、斎藤、岡田、播摩、宇原、陽地、安定、松英、中川、松家、渡辺、桑原、中川、野尻、漆原、おおぎ学園、川野、田淵、金本、鎌田、新居、糸林○藍住町○木内、大西、高田、藤原、鎌田、鳥取○吉野川市○渡部、安丸○小松島市○土橋、竹島○阿波市○岡田、宮野、川上、中村○北島町○平岡、長田○板野町○大嶽、沖津、安定、中西○阿南市○朝川○松茂町○ベリッジ・ローアン○石井町○近藤、先田、福田、清重、矢田○鳴門市○土佐、三矢、向井、片岡、洗、上原○美馬市○宇坂○香川県○三谷、堀地○京都市○木村

不用品を回収させて頂いた方々

徳島市○永松、岡田、井口、元木、柏原、河野、小坂、佐藤、笠谷、江本、桑原、浜田、桑村、祖川、宮城、井内、森、善福寺、城西病院、井堀、米沢、山地、島田、井上、野口、河野、吉田、田村、清水、田村、ジェイミー、川崎、梶村、前川、小川、高島、山内、庄野、昭和学童、次郎長寺、DIANE ZURN、中田、鎌田、大塚歯科、内町コミセン、福原、逢坂、岩崎、岡島、榎本、徳島県国際交流協会、竹内、坂本、高橋、大谷、馬場、斎藤、中佐古、森、塚谷、桧垣、テクノスクール、助任学童保育クラブ、原田、玉川、川村、山星、高松、長谷部、蒲池、本田、西岡、板東、松ノ内、福本、高山、奥田○小松島市○四国電力、エアィ、小松島社教、田中、島○鳴門市○久龍、赤沢、小林○吉野川市○市川○北島町○大田○石井町○高田

この度は当会罹災に関して、ご心配、ご支援頂いた事に対しスタッフメンバー一同、心より感謝申し上げます。まだまだ全面復旧には時間がかかりそうですが、私たちも頑張って一日も早い再建をしたいと思っています。これからもよろしくお願いします。尚、誠に申し訳ありませんが、本来でしたらこのページでH16年11月20日よりH17年2月末日の期間に不用品を回収させて頂いた方、持ち込んでくださった方、カンパをしていただいた方のお名前を掲載させて頂いておりましたが、今回不慮の火災にて書類が焼失してしまいました。年末年始に向けてたくさんの回収依頼や持込を頂きましたが、掲載が出来ない事を深くお詫び申し上げます。

NPO法人太陽と緑の会の活動は、ボランティア、各種関係者、一般市民の方のご支援、ご協力によって支えられています。本当にありがとうございました。

メンバースタッフからの声

今回の罹災により十九年間かけて築いてきたものが、一瞬にして無くなってしまいました。メンバースタッフ動揺の無い人は一人もいません。かといって無くした物は戻ってきません。「壊れた物はまた作ればいいんだ」というプラス志向にみんなすぐに切り替え、今一日も早い全面復興に向け頑張っています。

表紙の絵（太陽と緑の会 国府リサイクル作業所）名田さん、活動 21 年のベテランメンバー。

僕は二十四さいのときにリサイクルに、めんばとしてはいりました。いままでスタッフめんばとともにしごとおしたところが、かじでやけてしまったことはぼくはつらくおもいます。とゆうのもぼくははじめいえからかよっていたのですが、リサイクルでねとまりおしたり、リサイクルのスタッフめんばとよくじおつかったところが、かじでぜんしょうしてしまっただけ、スタッフにとつてもめんばにとつてもたからであり、またおきやくさまのかいやすいところがまるやけになったこと。でもぼくはリサイクルではたらいてじゅうろくねんになります、リサイクルがかじになるとはぼくはおもっていませんでした。あさおきてリサイクルにいくとちゅうで、スタッフのくるまがあくいはしのところにとまっていて、スタッフとめんばとはなしをしていた。めんばのひとりかぼくをみつめて、リサイクルがかじとゆうてくれて、ぼくははしりました。みにいくともえこげたりリサイクルがありました。ざんこくすぎます。スタッフのゆめをかえしてください、めんばのゆめをかえしてください。ぼくのじゅうろくねんはたらいたところをもどせ。ぼくはやくもとのにぎやかなリサイクルになってほしいとおもっています。

英司さん（活動十六年のベテランメンバー）

本館は燃えてしまったけど、家具倉庫の方が助かったので、まだ安心した。

走川くん（活動 15 年のベテランメンバー）

火事になった作業所 僕は 2 月 27(日)いつものよに出勤している時に自転車にのってきよる辻井さんが「火事になとる休みです」といって帰りました。自分は火事になった作業所を見て「出勤ができなくて長い事やすむのか」と思いました。警察と消防が現場検証をしてました。僕と岡田さんと数藤さんと大木さんの 4 人はショックをうけて家へ帰りました。3 月 3 日の徳島新聞にのっていました。それと

リサイクル作業所の歴史始まって以来の火災です。家具のコーナーの方では活動の一部を再開しました。フォーカス徳島で放送されました。自転車倉庫と家具のコーナーが無事だったのでスタッフもメンバーもゼロからの出発として、復興したいと思っています。

喜彦さん(活動 14 年のベテランメンバー)

火事になって丸焦げになった建物を土手の上から見た時はショックだった。早く建物を元に戻し回収活動に行きたい。

伊藤さん(活動 12 年のベテランメンバー)

太陽と緑の会が全焼して 先月 27 日の朝方、太陽と緑の会が火事になっていると聞いて、ビックリしました。まさかと思い間違いであってほしいと思いました。そして恐る恐る、作業所へ行って見た瞬間『呆然』としてしまって、涙が出てきました。私はこの作業所に来て 9 年になります。私はこの作業所で本当に落ち着いて、元気になった場所でこんなことになるなんてと思いました。その時は、もう一瞬この場所で働けなくなるのかと思いました。そして、『自宅待機』してくださいと、言われた時は本当にこれから、どうなるのかと心配になりました。そしたら、3 月 4 日『木曜日』から、また働けると聞いて本当に嬉しかったです、また皆と一緒に働ける、また会えると聞いたときは本当に安心しました。これから大変だと思います。皆で一緒に頑張りますのでよろしくお願いします。

郁ちゃん(活動 9 年のメンバー)

2 月 27 日朝午前五時に国府の太陽と緑の会リサイクルが火事がいたので僕はびっくりした。元に戻すのにお金がようけいるだろう。2 月 27 日(日)から 3 月 2 日(水)まで臨時休業だった。僕は焼けて壊れた建物を見てとてもショックだった。

大木くん(活動 8 年のメンバー)

一昨年の夏休み中にきれいに改装した天井が、火事で焼けて真っ黒になってた。手間と時間をかけて作った建物が……。今までみんなとやってきた作業所なんで、早くもとに戻したい。一日も早く再開できたら、また新しい建物で店内整理をしたい。

富開くん(活動 7 年のメンバー)

作業所が火事になったことを、朝作業所に向かう途中で他のメンバーに聞き、取り合えず家に引き返しました。家に帰ると親戚の人が火災の事をニュースで聞き、それを電話で教えてくれたらしく親も火

事のことを知っていました。昼から両親と一緒に作業所の方を見に行きました。建物は思った以上に焼けていました。とてもびっくりしました。早く立て直してほしいと思います。

小倉くん（活動7年のメンバー）

一生懸命やったコケサク（衣類）が燃えてしまった。ショックだった。

工藤くん（活動6年の衣類担当メンバー）

私は少し休んでいて火事の日から行こうと思っていましたが、こんな形で作業所を見てびっくりしました。作業所が焼けてショックでした。

大和さん（活動四年のメンバー）

活動に四年間関わっているボランティアですが、最初に焼けた建物を見た時は、壁もなくなっていて、あまりの酷さにびっくりしました。

（当会ボランティア）

私が火事の知らせを聞いたのは母からの電話でした。新聞配達をしてる母がサイレンを聞き、火事問い合わせ専用電話で聞いて慌てて私の携帯にかけたのです。そして誤報かボヤであつてくれと願いながらかけつけたのですが、暗い中でしたが建物からハッキリと煙が出たのを確認した時は愕然とし、信じられませんでした。かなりショックでしたがでも落ち込む暇はありませんでした。関係者で一番にかけつけたということもあり到着するなり事情聴取が始まり、バタバタしておりました。そんな中、次々とかけつけてくださった方々から励ましの言葉を頂戴し本当に嬉しく時には涙が出そうになるのを堪えながら来てくださった方々の対応をしておりました。類焼がなく、死傷者も居なかったことと皆様の励ましのお言葉に再建に向かって頑張ろうと強く思いました。その一方でメンバーの心配と回収班として依頼をくださった人達にご迷惑をかけてしまうことが申し訳ないと思っていました。皆様のご声援によりまして今は徐々にではありますが活動を再開しております。一刻も早く元のような活動が出来るように頑張りますので、これからも何卒よろしくお願い申し上げます。

桑内一典（当会若手スタッフ）

はじめまして、青年長期ボランティアとして活動をしている吉川良祐です。出身は長野県です。今回の火事でとてもショックを受けました。でも、いろんな人のはげましがあり、とても力強く思いました。3月いっぱい自分の活動は終了しましたが、4月いっぱい引継ぎで残りますので、それまでは力になれるよう頑張っていきたいと思います。

吉川良祐（平成十六年度、（社）日本青年奉仕協会派遣、青年長期ボランティア）

お知らせとできごと

太陽と緑の会事務局が火災により全焼

平成 17 年 2 月 27 日午前 4 時 39 分頃、太陽と緑の会事務局建物の 1 階部分より火の手があがりました。約 40 分後に消火できましたが、建物は全焼致しました。幸いにも死傷者も、近隣への類焼もありませんでしたが、関係者はもちろんのこと、作業所に通ってくる様々なハンディーを持ったメンバー達は大きな衝撃を受けました。出火原因については不審火の疑いが強いとのことで、現在も警察による捜査が続いています。

全焼した建物は、取り壊される予定だった市役所の仮庁舎を、多くの方々のご支援ご協力により、昭和 61 年 7 月に現在の場所へ移築したものです。気の遠くなるほどの時間と労力をかけながら、様々なハンディーを持った人たちの福祉的就労の場・自立支援の場として、18 年半使用してまいりました。お金も物もない中で、知恵と工夫をこらしながらボランティアの手を借りてきたものだけに、残念でなりません。罹災後、様々な方々のお見舞いや励ましを頂きました。この場を借りてお礼申し上げます。

罹災後 1 ヶ月～仮事務所の設置、通常活動の再開～

2 月 27 日 午前 4 時 39 分頃、太陽と緑の会事務局建物の 1 階部分より出火。約 40 分後に消火するも建物は全焼。午前 9 時半より警察・消防による現場検証。午後 5 時くらいまで続き、ほとんど身動きとれず。午後 6 時より、月の宮共同生活棟にて緊急理事会。

2 月 28 日 延焼を免れた奥の家具・衣類倉庫 2 階にリサイクル品をフル活用して、ボランティアの方の協力により仮事務所を設置。夜、井戸水のポンプにコードリールをつなぎ、電気を引いて水が使えるようになりました。ガスコンロを設置し、ガスも使えるようになりました。

3 月 1 日 太陽と緑の会理事より寄贈されたパソコンを設置。ボランティアの方の協力により、流し台設置。警察・消防が検証を終えたごみの山から、重要書類をかき出し、乾燥し保管する作業。

3 月 2 日 ボランティアの方の協力により、入り口に照明およびセンサーライト設置。翌日からの作業所メンバー復帰に向けた準備。メンバーが来て、作業して、昼食が取れる状態にまで持って行きました。PHS が復旧。それまでスタッフ個人の携帯を連絡先として使用していた状況を改善。

3 月 3 日 太陽と緑の会に通ってくる様々なハンディーをもったメンバーが復帰。障害者地域共同作業所としての活動を再開。食堂、台所の整備、事務室の整備、衣料品の整理・値段付けの作業をメンバー、スタッフ、ボランティアの協力で行いました。同時に徳島市郊外にある太陽と緑の会月の宮作業所において、農作業、自転車リサイクル作業、片付けなども行いました。

3 月 3 日 徳島県障害者地域共同作業所連絡協議会が主体となって、太陽と緑の会再建のための支援金の口座を設置、カンパの呼びかけなどの活動を開始して下さいました。

3 月 4 日 午後 2 時ごろ、ようやく電話回線が復旧。不用品回収依頼やリサイクル品についての問い合わせの電話を頂くようになりました。

3月5日 中の片付け、掃除。メンバーの藤田喜彦さんのお姉さんから豚汁の差し入れを頂きました。

3月6日 夕方、ADSL回線とメールが復旧。夜、月の宮作業所にて理事会。

3月8日 ホームページの管理運営をお願いしている柴野さんによる太陽と緑の会復興レポートのウェブサイト掲載開始。

3月8日 午後5時半から四国放送のニュース番組「フォーカス徳島」で、罹災後の太陽と緑の会の現状について約5分の報道。メンバーの作業する姿も放映。

3月12日 ボランティアの小林さんから豚汁の差し入れ。午後8時から9時まで、FM放送のB-FM (FMビザン) で般若院住職の宮崎信也さんと地藏寺住職の服部宏昭さんがパーソナリティを務めるラジオ番組「3Bのえんぴつ」に、太陽と緑の会代表の杉浦が出演、太陽と緑の会のこれまでの取り組み、ミッションと罹災後の現状について話しました。

3月13日 中四国精神保健福祉士大会の基調講演のために徳島にいられていた大熊由紀子さん他5名の方が、太陽と緑の会の仮事務所を訪問、代表の杉浦が活動を始めた経緯、これまでの取り組みについて説明させて頂きました。

3月14日 一部の不用品について、持ち込みの受付を再開。

3月15日 倉庫前の屋外にて、リサイクル品の販売活動を再開。

3月18日 警察官の方の立会いの下、焼け残った重要書類の一部を搬出。

3月19日 城北高校から吉田先生と高校生5名がボランティア参加。昨日搬出した書類は、書類ケースのプラスチック部分が溶解して書類と一体化して固まっており、ボールと金槌をつかって取り出す作業。書類は、焦げてる、ぬれてる、プラスチックの塊がこびりついているという状態です。

3月19日 午後6時より、月の宮共同生活棟にて、メンバー、スタッフ、ボランティアが集まりウガンダからの研修生アロイジャスさんの送別会を行いました。メニューは手作りの手巻き寿司とイノシシ鍋。イノシシの肉は村上産業(有)社長の荒川様より頂きました。ありがとうございました。

3月20日 一部の不用品について、回収活動を再開

3月22日 今月養護学校高等部を卒業した田村正子さん(18才)が太陽と緑の会リサイクル作業所への通所を開始。

3月24日 メンバーの米田君が罹災後3日間で書き上げた詩集「太陽」を700部印刷。印刷機も火災で焼失したため、ハートランド様の印刷機をお借りして印刷しました。

3月25日 ウガンダからの研修生アロイさんが、太陽と緑の会で最後の活動参加。

3月26日 生活協同組合・コープ自然派徳島の方が、当会復興支援のためのフリーマーケットをキョーエイ・タクト店で開催して下さいました。当会からも専任職員の今倉とメンバーの田村君、岡田さんが出店参加しました。出店者の皆様及び買い物客の皆様から集められたカンパを、同組合を通じて頂きました。ありがとうございました。

3月27日 ボランティアの小林さんの紹介で、鴨島まちかどコンサートのフリーマーケットに出店。青年長期ボランティアの吉川君とメンバーの工藤君が参加。

ウガンダからの研修生、全日程を終了

昨年10月より太陽と緑の会で研修を行ってきた、ウガンダからの研修生のアロイジャスさんが、無事研修の全日程を終了、3月27日、日本を離れました。研修活動は、午前中は日本語の勉強、昼からは太陽と緑の会で研修、という形で行ってきました。10月から12月にかけてはリサイクル作業所と月の宮作業所で実際にメンバーとともに作業に関わる、現場作業を通じた研修が中心、1月から2月にかけては、代表理事杉浦による講義形式の研修が中心となりました。現場活動を実際に体験してから講義形式の研修に移行したことで、実りある研修になりました。ただ最後に罹災という不慮の事態が生じたことで、アロイさんには大変ご迷惑をおかけしました。

アロイさんの研修にあたっては、受入先となった「徳島海外青年協力隊を育てる会」の皆様、コーディネーターを務めて下さった松村さんをはじめ、多くの方の支えがありました。特に松村さんは、明るい人柄とフットワークのよさで、当会の様々なハンディを持ったメンバーともすぐに打ち解けて下さり、アロイさんにとっても心強い存在だったと思います。この場を借りてお礼申し上げます。

アロイさん、半年間ありがとうございました。日本で学んだことをウガンダでの活動に活かして頂けたら、と思います。

罹災後2ヶ月～～全焼した建物内の残さ物の片付け開始～～

4月1日 警察による現場保存の解除。午後3時より、県庁において「太陽と緑の会復活大作戦」の記者会見。午後8時から9時まで、FM放送のB-FMの「3Bのえんぴつ」に、太陽と緑の会代表の杉浦が出演、現状報告を行いました。

4月2日 焼けた建物の外回りの掃除、片付け。

4月3日 物置倉庫及びテントの移動。屋外販売場の整備。

4月4日 資料類の搬出、乾燥。

4月12日 資源ゴミの回収を再開。

4月17日、徳島市内の眉山に不法投棄されたゴミを一斉清掃する「眉山癒しの道クリーンアップ合同作戦」が、ボランティア650人の参加のもと実施。当会スタッフの桑内とメンバーの数藤さんが参加。

4月18日 電化製品、家具の回収も再開。不用品の引き取りは、大型の家具を除き、罹災前とほぼ同じレベルにまで戻すことができました。

4月20日 午後5時半から四国放送のニュース番組「フォーカス徳島」で、太陽と緑の会の復興へ向けた取り組み、片付け作業について約5分の報道。

ボランティアの方のご協力による一斉片付け作業

4月16日、17日の2日間、徳島県内の障害者地域共同作業所の職員、メンバー、保護者、ボランティアの方がのべ55名集まり、当会理事兼ボランティアの櫛田さん、ボランティアの工藤さん、スタッフ、メンバーも参加して、全焼した太陽と緑の会リサイクル作業所建物内（1階、2階）の残さ物（2トン車約50杯分）の搬出及び分別の作業を行いました。

建物の1階売場にあった残渣物は初日の午前中ですべて建物外に搬出、2階の残渣物、使用可能なメンバー用のロッカー4本などを1階に下ろす作業も完了しました。昼食はボランティアの皆様がおにぎりともみぞ汁を作って下さいました。

4月23日（土）、24日（日）は、徳島市社会福祉協議会、ボランティア団体「徳島の風」の皆様、及びふれあいコープ自然派の三木さん、合わせてのべ18人のボランティアの方が参加して下さいました。

先週2階から落としたレコード、CD、衣料品、書籍がごちゃ混ぜになったものの分別作業と、焼け落ちた木材や木製ラックの解体・切断作業が中心となりました。1万枚ほどあったレコードはすべて中身を出して、可燃ゴミと不燃ゴミに分別、木材は長さ1.5メートル以内でないと処分できないため、のこぎり、ハンマー、パールなどを使用してすべて解体・切断。

お忙しい中、時間をさいて参加して下さいったボランティアの皆様、本当にありがとうございました。徳島市のご協力も頂き、5月15日、建物内の残さ物の片付け作業がほぼ完了いたしました。

青年長期ボランティア

平成17年度青年長期ボランティアの小野裕太郎君（福島県出身・19才）が、4月11日より当会での活動を開始しました。耳もとにピアスの光るおしゃれな青年で、早速焼け跡の片付け作業に、メンバーとともに汗を流してくれています。「古着は好きです」の言葉に衣類部門から熱い視線が送られ、ソフトな物腰に月の宮作業所の面々からも期待が寄せられています。ここでいろいろな経験を積んで、郷里に持ち帰って頂けたら、と思います。

また昨年4月22日より1年間に渡り当会で活動してくれた平成16年度青年長期ボランティアの吉川君（19才・長野県出身）が、5月5日無事活動を終了し、郷里の長野へ帰りました。

吉川君は1年間のうち、前半は軽ワンボックス車による不用品回収、古紙搬入、積み込みなどを行い、後半は、以前から農業には関心を持っていたこともあって、月の宮作業所での農作業にもハンディを持ったメンバーとともに取り組んでくれました。罹災後は、夜遅くまで片付け作業に関わってくれ、本当に助かりました。

活動開始当初は、18才になったばかりで、運転免許も取りたて、無口で頼りなげな感じの青年でしたが、この1年で精神的な面でもひとまわりたくましくなってくれたと思います。

4月29日には徳島市郊外の月の宮共同生活棟にて歓送迎会を行いました。メニューは2人の希望により、手巻き寿司と韓国式焼肉となりました。材料は中州市場で安く仕入れ、櫛田さん他、ボランティアの皆様のご協力により調理することで、安くて豪華な食事にすることができました。

罹災後3ヶ月～～新たな活動拠点の再建に向けて～～

4月16日 太陽と緑の会の支援組織「太陽と緑の会復活大作戦」が発足、徳島市内のふれあい健康館で発足式を開催。当会のメンバー、スタッフも含め、約50人が参加、当会代表の杉浦からの現状報告、支援して下さった方にお贈りしている詩集「太陽」を書いたメンバー米田君の詩の朗読。皆様からあたたかい励ましの言葉を頂戴し、再建に向けての気持ちを新たにすることができました。

5月2日 午後2時から、徳島駅前で第1回目の街頭募金を実施して下さいました。当会からも代表の杉浦、メンバーの米田君、数藤さんも加わり、総勢約25名が参加しました。

5月2日 午後5時半から四国放送のニュース番組「フォーカス徳島」で、太陽と緑の会復活大作戦の徳島駅前での街頭募金について約5分の報道。

太陽と緑の会復興へ向けた支援金の窓口について

太陽と緑の会リサイクル作業所再建支援金（主催 徳島県障害者地域共同作業所連絡協議会）

振込先 郵便振替 01630-5-37964 口座名「山下安寿」

事務局 社会福祉法人ハートランド 精神障害者小規模通所授産施設あつぷる 事務局長 山下安寿

〒770-0051 徳島県徳島市北島田町1-46-4 TEL 088-633-1410 FAX 088-633-1423

太陽と緑の会復活大作戦（代表 服部宏昭）

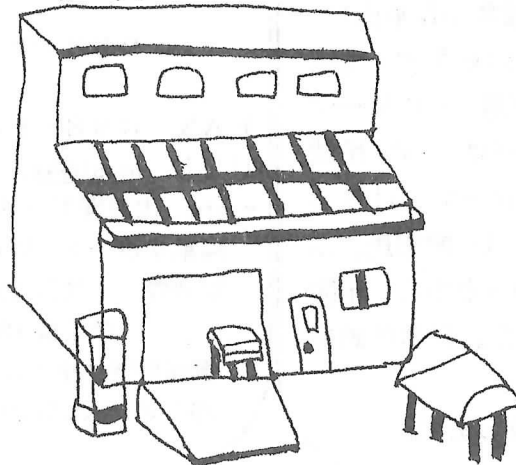
振込先 阿波銀行 山川支店 普通1115339 徳島銀行 山川支店 普通5556061

郵便振替 01640-3-38004

口座名はすべて「太陽と緑の会復活大作戦」

事務局 〒770-0909 徳島県徳島市寺町92 般若院住職 宮崎信也 TEL 088-652-6754

家具のコーナー



編集後記

家具のコーナーでは
朝衣類とクリヤケース
をだしています。持ち込
やかいにくるお客さ
んもけっこう多いです。
回収に行ったり売り場
と中づやる作業が
毎日ようにいそがしい
です。 喜音彦

本年（平成十七年二月二七日）午前五時
前、当会、国府リサイクル作業所の本館（作
業所兼店舗）より出火がありました。建物
は全焼してしまいましたが、出火時は早朝
ということもあり館内には人はおらず、ま
た火災に気づいた作業所の近所の方の、消
防通報が早かったため、近隣への類焼はな
く、大惨事は回避できました。今回の罹災
によりいろんな方からの、ご支援、ご協力、
励まし等を戴いたことは、メンバー、スタ
ッフ一同、心より深く感謝しています。現在
は少しずつですが活動の幅が広がってき
ている状態で、出来る事から頑張っていっ
ている状況です。これからご支援の程よ
ろしくお願いいたします。

尚、徳島市入田町の月の宮作業所では無
農薬で育てた玉ねぎが収穫期をむかえ、今
年は特に出来栄もよく、好評です。六月
にはじゃが芋も収穫期をむかえます。月の
宮作業所の方もどうぞお忘れなく、今後と
もよろしく願います。

文
白石

特定非営利活動法人 太陽と緑の会

私たちは生態系のリサイクルを含めたリサ
イクル・リユース活動を、様々なハンディーを
持ったメンバー達の障害者地域共同作業所（2
箇所）とリンクさせて、行っております。地域
の中で「人も物も活かされる街造り」をテーマ
に、ハンディーのあるなしにかかわらず「地域
の中でその人がその人の足で立っていける
こと」を目指して、様々な方々（一般市民、ボ
ランティア、行政）の支えを頂きながら、年間
300日、土、日、祭日を含めた、日常活動
を行っております。

これからもよろしくお願い致します。

発行：特定非営利活動法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島県徳島市国府町南岩延字小原
107-1

TEL 088-643-1054

（事務局）

088-642-1054

（リサイクル作業所）

FAX 088-642-1054

URL <http://www2.ocn.ne.jp/~t-midori/index.htm>

代表理事 杉浦 良 編集 白石 隆信

編集サポート 岡田 郁子

年会費：正会員 10,000 円

準会員 1000 円

郵便振替口座：01620-8-44703

※この機関誌は再生紙を使用しています。